

慶應義塾に関連した出版物や教職員の最新著書などを中心に、本に関する情報をお届けします。

誰もが身につけられる  
「リーダーシップ」とは？

『「リーダーシップ基礎」入門―傾聴力・対話力・交渉力・説得力を鍛える!』

田村次朗（法学部教授）著  
東京書籍／1650円（2023年3月）



クラブや研究会、企業や団体、さらに自治体・国家まで……。『リーダーシップ』が欠如するトップを冠する集団は、しばしば深刻なトラブルや混乱に陥るものだ。リーダーシップとはいわゆる「リーダー」だけに求められる「才能」ではなく、社会で生きていく誰が必要とする基本的な「素養」で、「学ぶ」ことで習得できる。本書はそのためのカリキュラムであり、「傾聴力」「交渉力」「説得力」とそれらをベースにした「対話力」をどのように身につけるかを具体的にレクチャーしている。SNSやニューノーマルなどのキーワードも織り込みつつ、今あるべきリーダーシップ教育を提唱する。

教職員執筆の最新

●中島隆信（商学部教授）著

『お寺の行動経済学』東洋経済新報社／1760円（2023年4月）

●佐藤元状（法学部教授）ほか編著

『ドライブ・マイ・カー』論

慶應義塾大学出版会／2420円（2023年4月）

●不破有理（名誉教授）著

『アーサー王物語』に憑かれた人々―19世紀英国の印刷出版文化と読者』

慶應義塾大学出版会／770円（2023年4月）

●前野隆司（システムデザイン・マネジメント研究科教授）ほか著

『実践！ウエルビーイング診断』ビジネス社／1870円（2023年5月）

●坂下玄哲（経営管理研究科教授）ほか編

『マーケティングの力―重要概念・理論枠組み集』

有斐閣／2970円（2023年5月）

●今井むつみ（環境情報学部教授）ほか著

『言語の本質―ことばはどう生まれ、進化したか』

中公新書／1056円（2023年5月）

## 慶應義塾のこの一冊

『今を生きる思想 最後の蘭学者』 福沢諭吉

大久保健晴（法学部教授）著  
講談社現代新書／880円  
（2023年3月）



福澤諭吉についての書物は無数に存在するが「福澤と蘭学」というテーマは十分に論じられていないのではない。幕末、横浜の外国人居留地を訪れた福澤は、自分が習得したオランダ語が通じないことに落胆し、英学に取り組むようになった。しかし「蘭学をもちや役に立たない学問であるとして切り捨て、英学に転向した」という解釈は誤りであると著者は断じる。本書は若き福澤の蘭学との出会いから、福澤の文明や国家をめぐる深い思索の背後にある蘭学の蓄積について深く考察する。